

第19期(2017年3月期) 第2四半期決算のご説明

2016/11/25



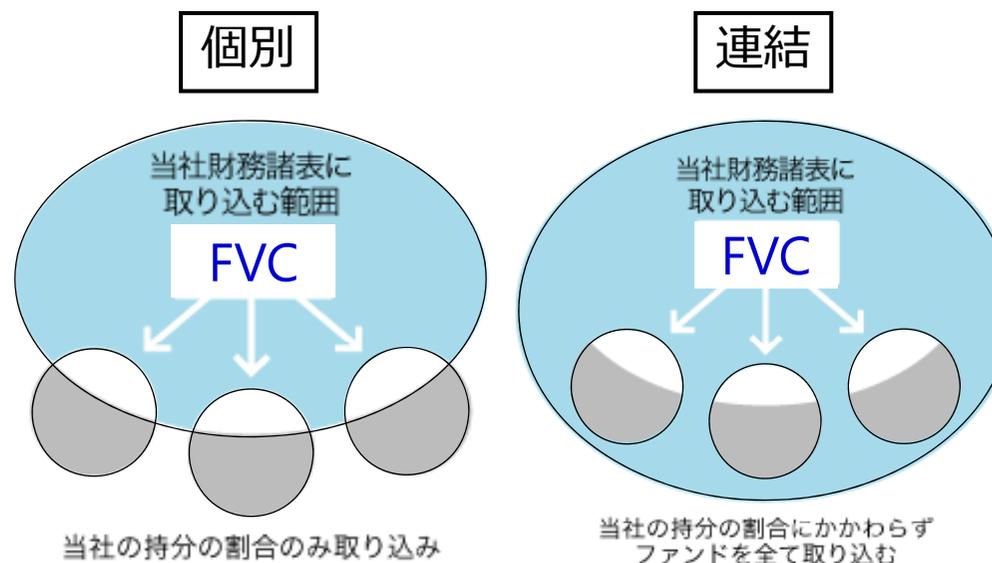
本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

本資料の数値は、特に指定がない限りすべて2016年9月末現在のものです。

当社の経営成績及び財務状態をよりの的確に表すため、本資料では、基本的に投資事業組合の**当社持分のみを連結した個別決算数値を記載**しております。

<連結決算の場合>

- 連結貸借対照表
 - ・自己資本比率が低下
- 連結損益計算書
 - ・営業投資有価証券にかかる損益が増幅
 - ・投資事業組合等管理収入が内部取引とみなされ、相殺消去(管理報酬等)



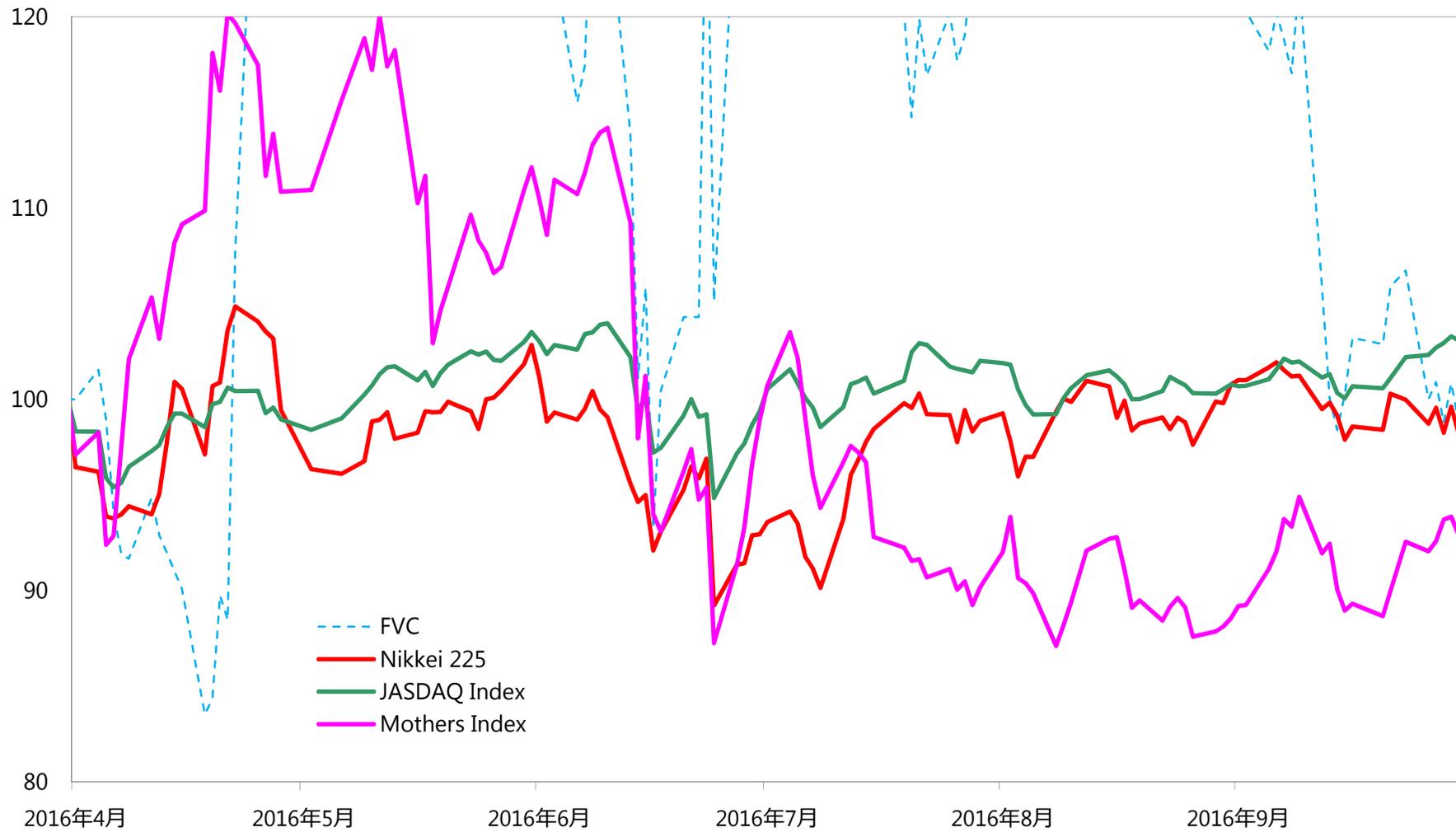
投資事業組合の運用総額に占める当社持分の割合24.9%

1. 市場環境	・・・P.4
2. 決算説明	・・・P.10
3. 主な取り組み	・・・P.16
4. 追補	・・・P.22

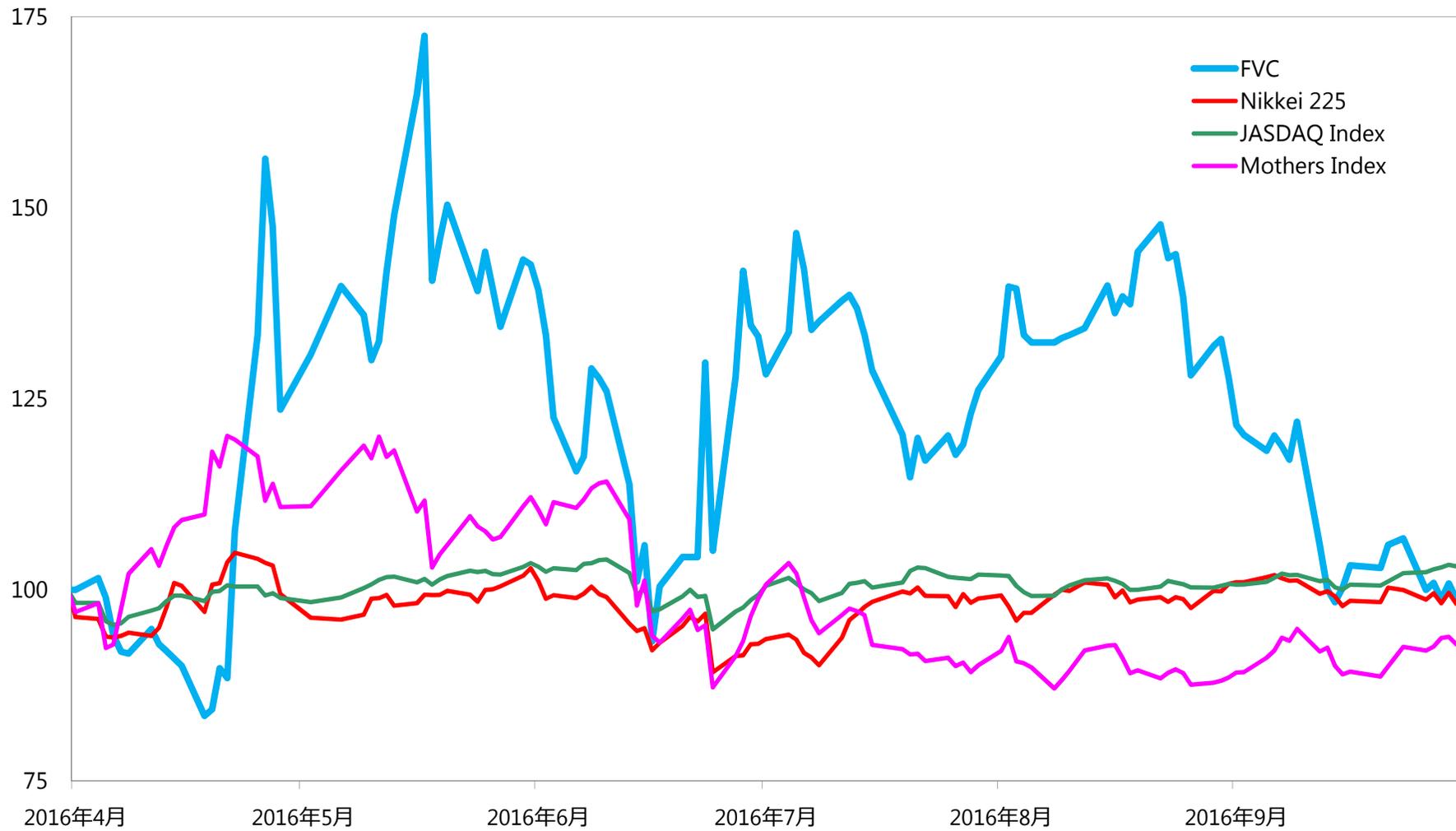
市場環境



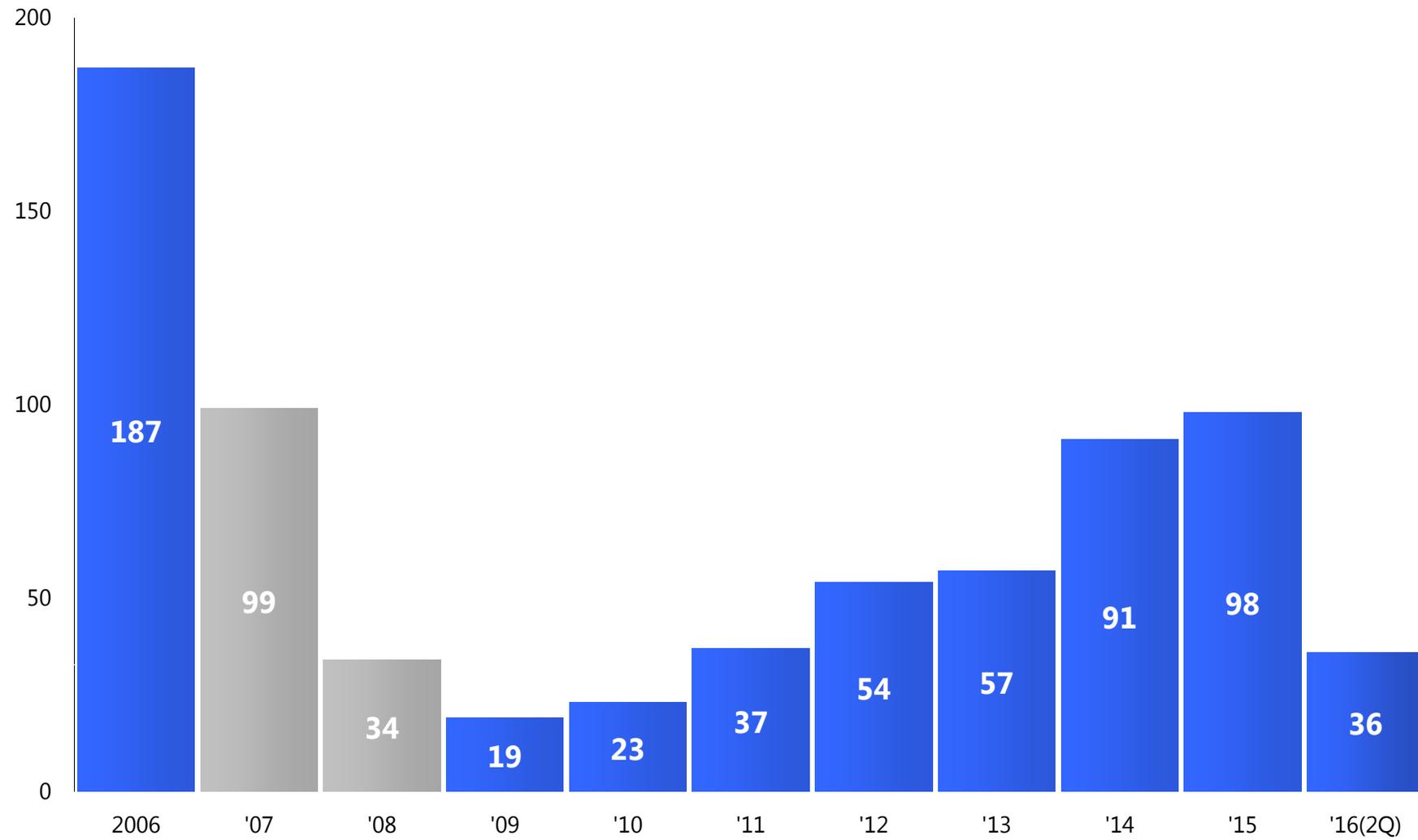
1.1. 株式市場の状況(1)



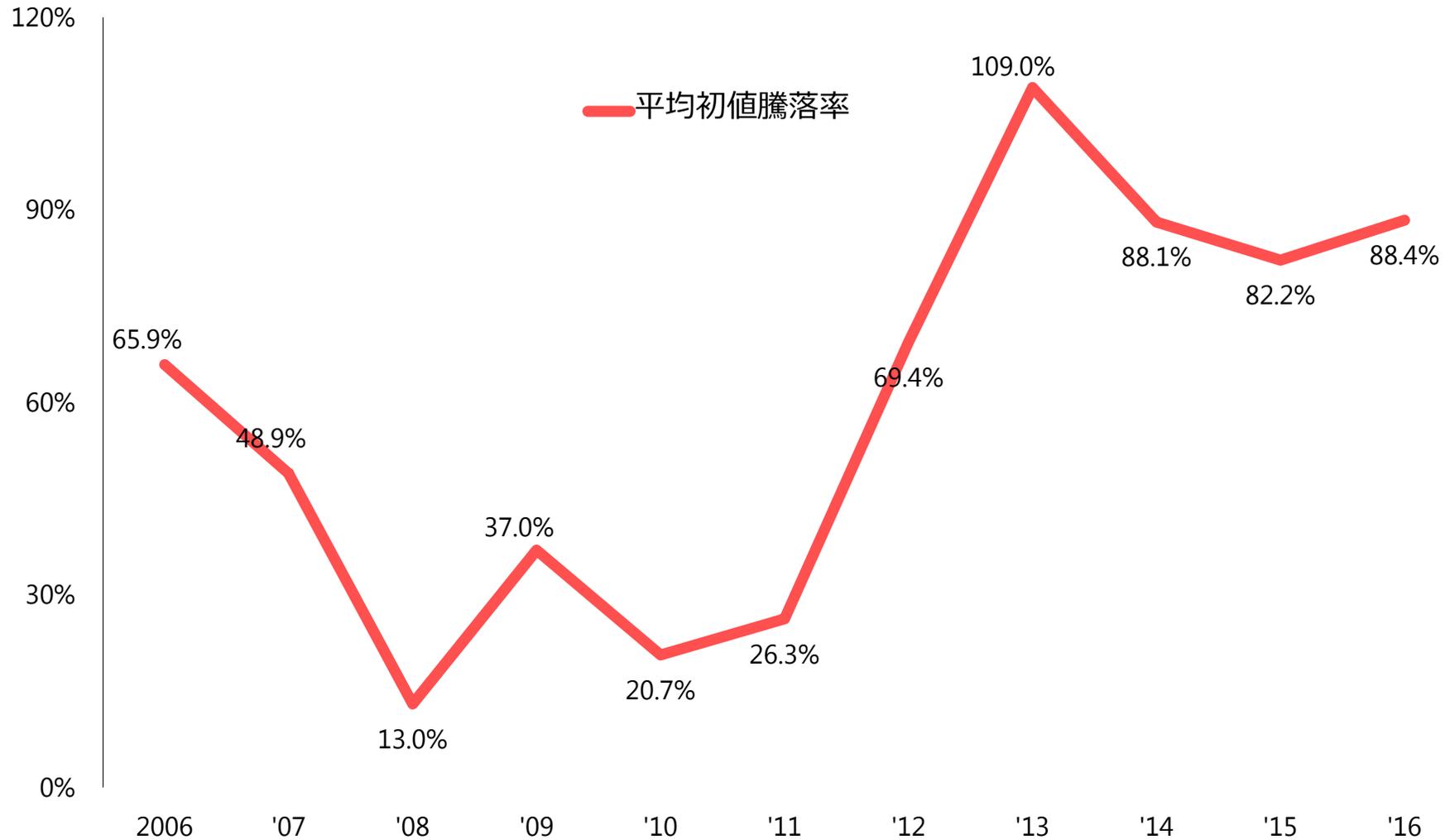
1.2. 株式市場の状況(2)



1.3. 新規上場市場の状況(1)



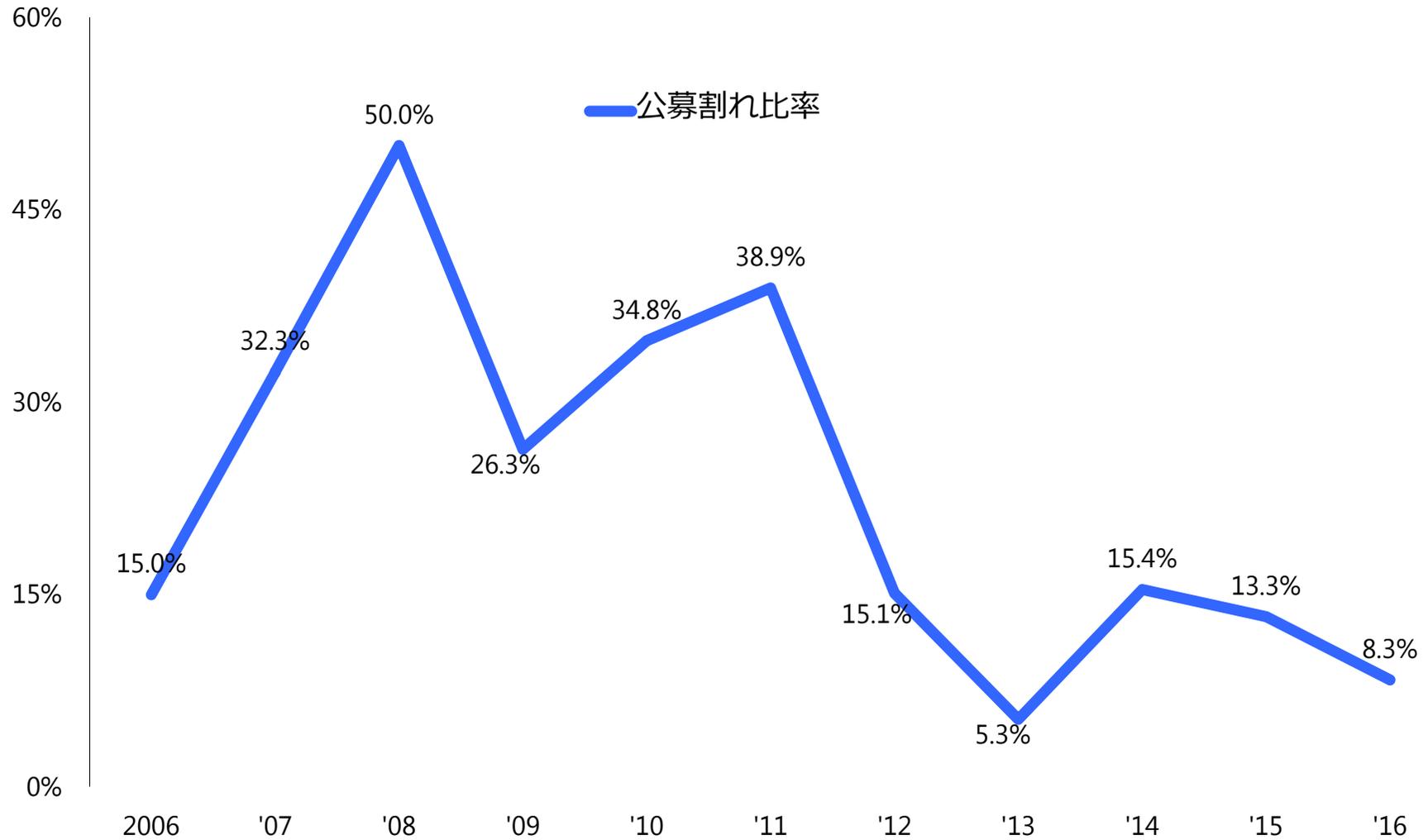
1.4. 新規上場市場の状況(2)



※初値騰落率：

{ (初値 - 公募価格) / 公募価格 } × 100 (%)

1.5. 新規上場市場の状況(3)



※公募割れ比率：
新規上場企業のうち、初値が公募価格を下回った企業の比率

決算説明



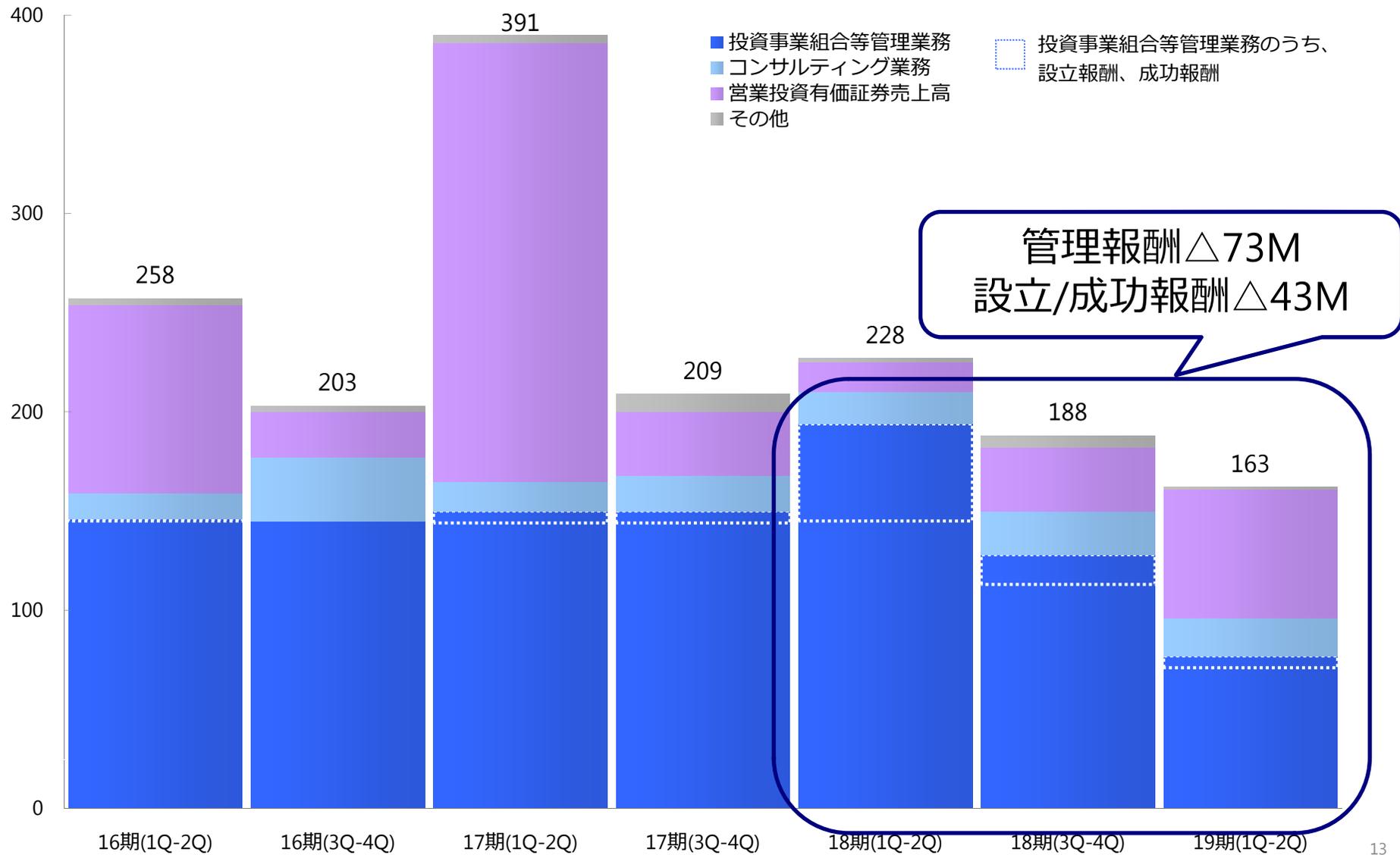
2.1. 決算概要(PL)

単位：百万円	第18期2Q 2015/4-2015/9	第19期2Q 2016/4-2016/9	対前年同期比
売上高	228	163	△65
営業損益	35	△ 209	△245
経常損益	25	△ 221	△246
当期純損益	19	△ 222	△242

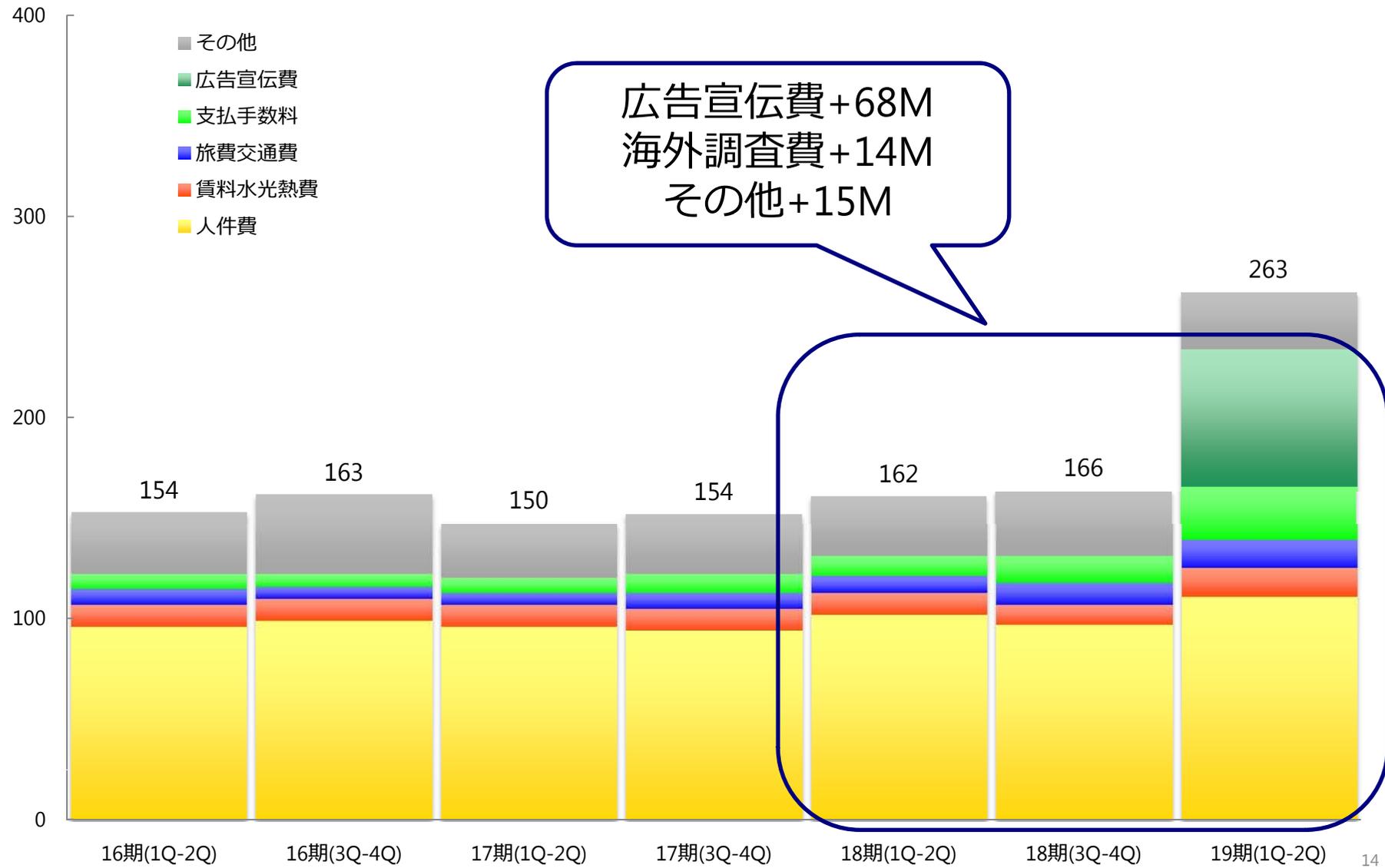
2.2.決算概要(BS)

単位：百万円	第18期4Q 2016/3末	第19期2Q 2016/9末	対前期末比
純資産	782	586	△195
総資産	1,419	1,158	△261
自己資本比率	54.9%	47.8%	△7.1

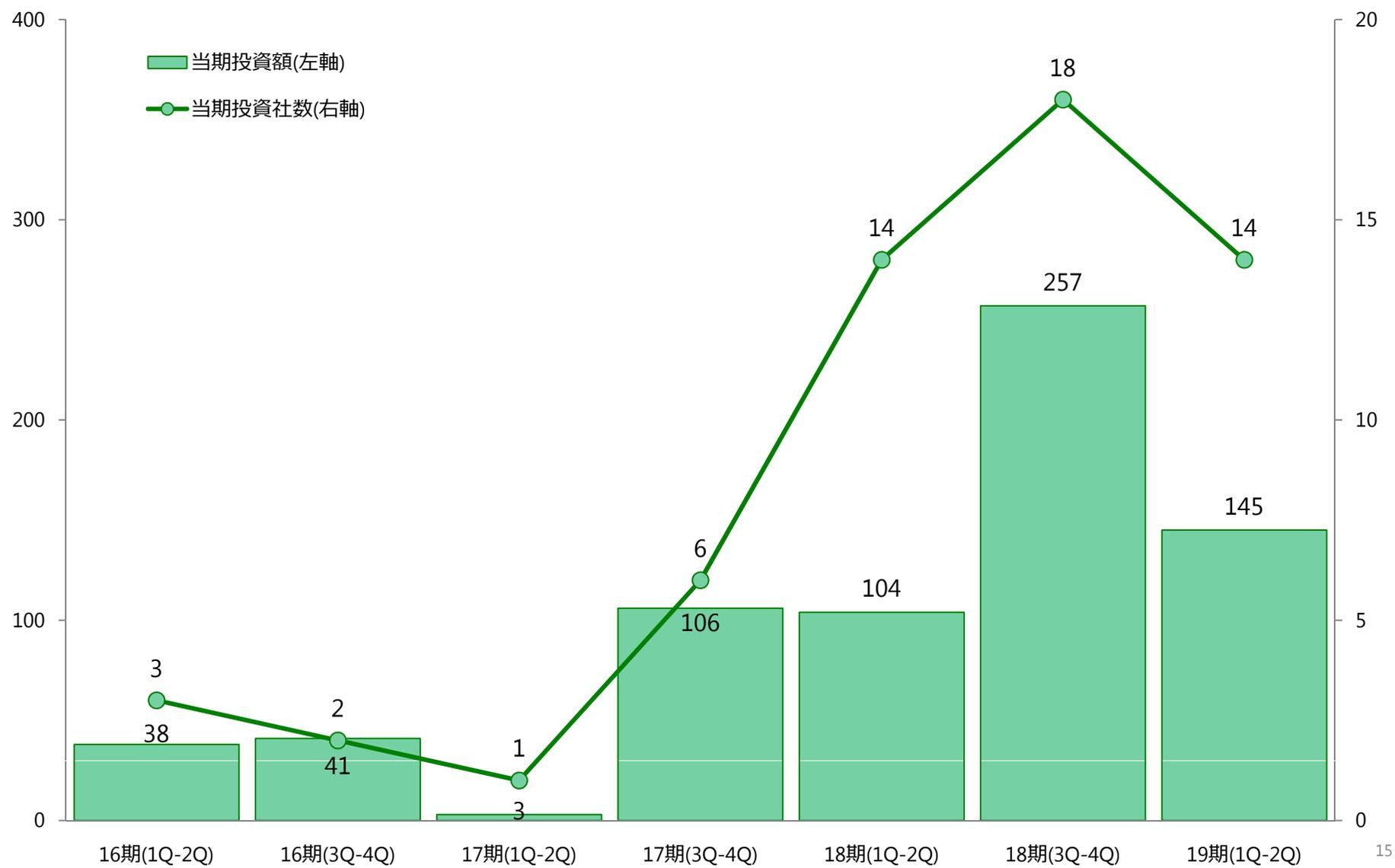
2.3. 売上高推移



2.4.営業体制強化



2.5.投資活動



主な取り組み



新株予約権発行による資金調達
約25億円をM&A、海外展開に投資

「100年継続企業を創る」目的にかなない、
事業シナジー効果が見込まれる企業を買収

想定事業領域

- | | |
|-------------|-------------|
| ・ 地方創生関連 | 商品開発 |
| ・ 投資先の価値向上 | PR、マーケティング |
| ・ ファンド組成の促進 | 事業承継、他ファンド |
| ・ FinTech関連 | 金商2種、決済サービス |

既存事業と海外事業の関連性

ターゲット	ステークホルダー	ニーズ	必要性	海外事業
地方創生 ファンド (CSV)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域金融機関 ・ 自治体 ・ 地域企業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 域内経済の活性化 ・ 創業率の向上 ・ 資金調達・成長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育 ・ 調達の多様化 ・ ハンズオン支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクセラレータープログラム ・ クラウドファンディング ・ ソーシャルレンディング
CVC ※ジェネラルF含む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業会社 ・ スタートアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンイノベーション ・ 企業情報 ・ 事業シナジー ・ 資金調達・成長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育 ・ コンサルティング ・ 海外進出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外ネットワーク ・ アクセラレータープログラム ・ OIコンサルティング ・ シェアオフィス

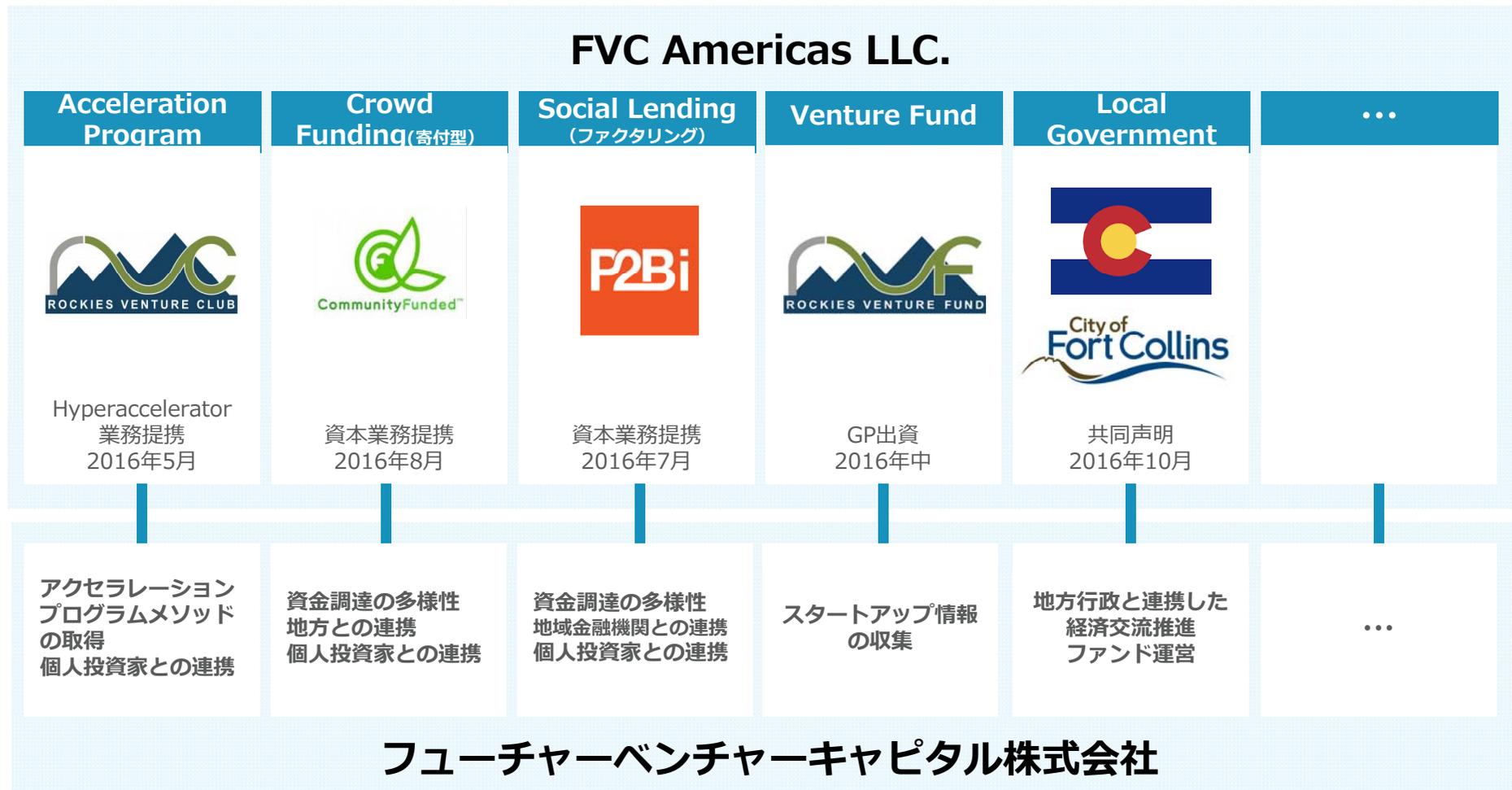
今のFVCではアメリカ・シリコンバレーでの参入余地は無いに等しいため、国内VCが参入していない領域への参入により優位性を図る

アメリカ・コロラド州でエンジェルネットワークを活用した展開

米国エンジェル投資額：約**2.3兆円** (約229億ドル※2012年)

国内ベンチャーキャピタル投資額：約**1,240億円** (※2012年)

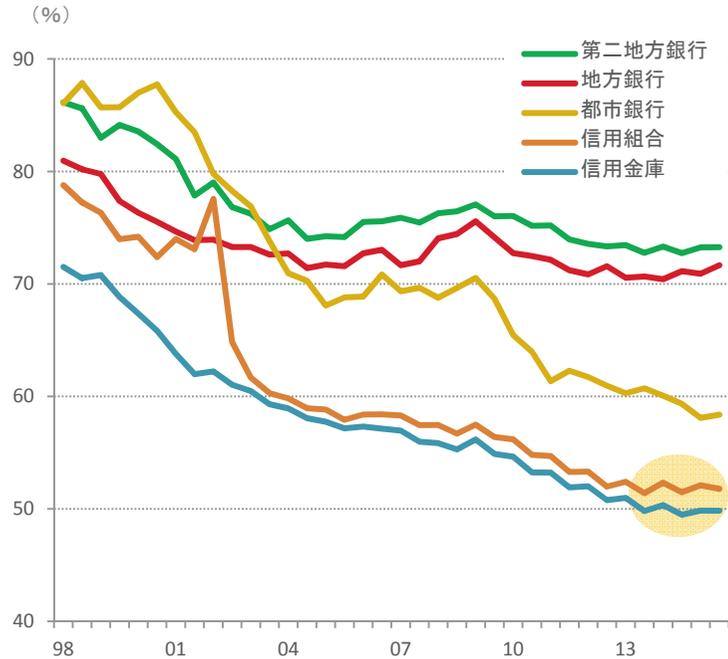
3.3.海外展開(2)



上記の取組を、PR強化により最大限発信し、日本国内におけるFVCのプレゼンスを向上
提携先を活用した国内での商品開発を実施

3.4.地方創生ファンド

金融機関の業態別に見た預貸率の推移

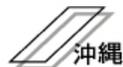


(出所) 中小企業白書2016年版

信金・信組においては、預貸率が**50%以下**に低下している先も多く、昨今のマイナス金利環境下では、経営環境の厳しさが増している

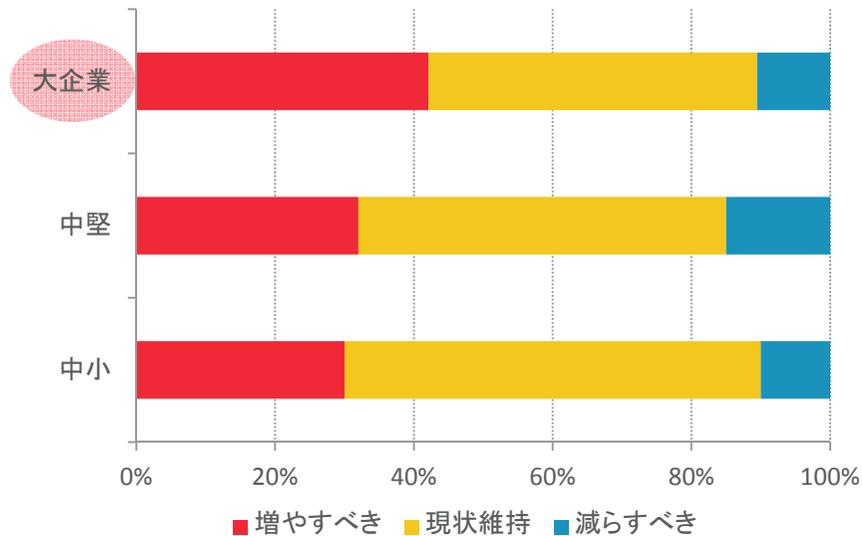
ふくしま夢の懸け橋ファンド
京都市スタートアップ支援ファンド
こうべしんきんステップアップファンド

3ファンド新設し、計10ファンドに



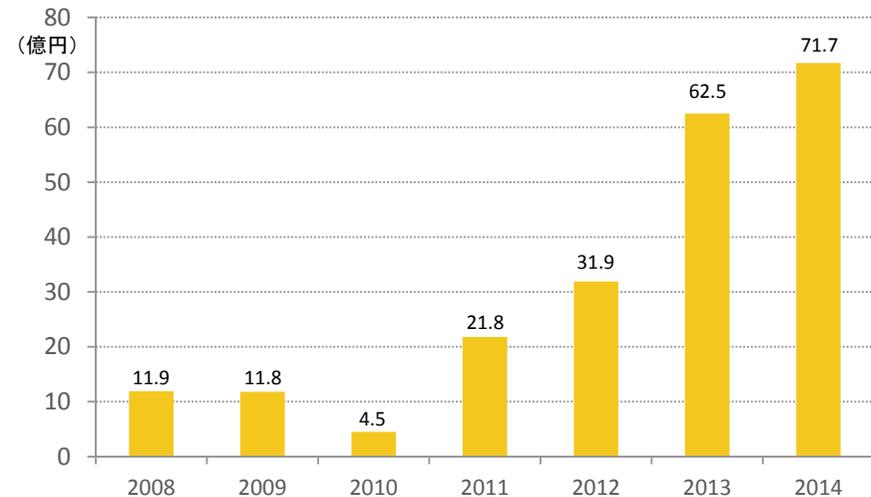
3.5.CVCファンド

日本企業のオープン・イノベーションについての考え方
「外部との連携の割合について、どのようにお考えでしょうか？」



出所: 2010年度産業技術調査(オープンイノベーションに関する企業アンケート)

民間の非金融事業法人のCVC子会社による
VB投資金額の推移(国内外合算)



出所: 一般社団法人ベンチャーエンタープライズセンター「ベンチャー白書2015」

大企業の**40%**超がオープンイノベーションを標榜した外部連携を増やすべきと回答

オープンイノベーションを標榜する事業会社にとって今後CVCファンドのニーズは年々増加するものと予想される

経済産業省も大企業とベンチャーの連携を後押ししており、その間を取り持つVCとしてますますCVCの設立に経営のリソースを集中させる

追補



4.1.新規上場承認企業 株式会社ZMP



Robot of Everything

項目	内容
上場予定日	2016年12月19日
上場市場	東証マザーズ
本社所在地	東京都文京区
事業概要	自律移動ロボットテクノロジー事業
投資時点株価	20円
想定発行価格	760円 (11月14日付有価証券届出書ベース)
想定投資倍率	38倍

FVCグロース二号ファンド(当社出資比率52.6%)より48百万円の投資